

アコースティックギターの種類

ギターとは？

女性の体を模したくびれたボディと、
6本弦の弦を持つ弦楽器。
(7弦、8弦、12弦などもあるが、基本は6弦)

16世紀にスペインで前身である4弦の「ビウエラ」が生まれ、
18世紀ごろに6弦になった。

大別すると

- 電気回路を持たない「アコースティックギター」
 - 電気回路で音を増幅させる「エレクトリックギター」
- の2種類に分けられる。

ギターとは？

アコースティックギター



- 電気回路を持たない
- 楽器単体で音を出す
- アコースティックサウンドそのままでも出力できる「エレアコ」もある

エレクトリックギター



- 電気回路を持つ
- 増幅してアンプから音を出す

アコースティックギターとは？

アコースティックギターとは？

- 「クラシックギター」・・・ガット弦
- 「フォークギター」・・・鉄弦

など**電気回路を持たない生のギターの総称**。

ただし、クラシックでは電気回路を持たない事は当たり前のので敢えて「アコースティック」とは呼ばず、昨今のポップスではアコースティックギター＝鉄弦のフォークギターを指すことも多い。

アコースティックギターの種類

クラシックギター



- 弦はナイロン等の化学繊維
- 柔らかく甘い響き
- ネックが太くメロディやソロ演奏を弾くのに適している
- フラメンコ音楽に特化した「フラメンコギター」もある

フォークギター



- 弦は金属
- 金属的な明るい響き
- ネックが細くコードや伴奏を弾くのに適している

クラシックギターとは？



名前の通りクラシックで使われるギター。その後ボサノヴァやラテン～ポップスでも多用された。

元はガット(羊の腸)を弦に用いていたため(現在はナイロン)ガットギターとも呼ばれている。

柔らかく甘い音色。

フォークギターとは？



カントリー、フォーク～ポップス等で幅広く使われるギター。スペイン起源のクラシックギターがアメリカに渡った際、バンジョーの影響を受けて鉄弦に変遷していった。

弦のテンションが強く、補強のためのカ木が面版裏側に接着されているため、クラシックギターに比べるとタイトな響き方をする。

その他のバリエーション

フラメンコギター	リゾネータギター	12弦ギター
		
<ul style="list-style-type: none">• フラメンコの激しい奏法に特化• 軽い素材 → 激しく明るいサウンド• 長い弦長 → コード伴奏時、押弦しやすい• ゴルペ板で面板を保護	<ul style="list-style-type: none">• エレクトリックギター登場以前に大きな音を出すため開発された• 表板にリゾネーター（金属の共鳴版）をハメてある• 独特なサウンドでブルース、特にスライド奏法で多様される	<ul style="list-style-type: none">• 多弦ギター的一种だが、7弦や8弦とは根本的に構造が違う• 主弦、複弦の2本×6コースの12弦• 独特の広がりのあるサウンドで多くのヒット曲で使われた